

## 地域社会へ発信する授業の開発とその実践的研究

「構成された光展」をとおして

### THE DEVELOPMENT OF THE CLASS TO SEND IT TO THE REGIONAL COMMUNITY AND THE PRACTICAL RESEARCH Through the "Constructed light exhibition"

久富 敏明 デザイン教育研究センター 准教授  
市野 元和 先端芸術学部クラフト・美術学科 教授  
山崎 均 デザイン教育研究センター 教授  
荒木 優子 デザイン学部ビジュアルデザイン学科 准教授  
瀬能 徹 デザイン学部ファッションデザイン学科 准教授

\*1) 註に記載するリストと合わせて共同研究者とする。

Toshiaki HISATOMI Center for Design Studies, Associate Professor  
Motokazu ICHINO Department of Crafts and Arts, School of Progressive Arts, Professor  
Hitoshi YAMAZAKI Center for Design Studies, Professor  
Yuko ARAKI Department of Visual Design, School of Design, Associate Professor  
Toru SENOU Department of Fashion and Textile Design, School of Design, Associate Professor

#### 要旨

本研究は、デザインとアートを専門とする大学における授業開発の試みである。それは、複数の異なる演習授業やゼミにおいて制作された学生作品を発表するひとつの場をつくり出すことである。

演習課題の多くは通常ひとつの授業やゼミの枠組みの中で評価される。本研究では、その枠組みを開く事を考えた。展覧会を開催し演習作品を発表することによって学生個人の作品が広く評価され、また同時に授業やゼミの内容に対する外部評価を受ける。このことによって学生の学習意欲向上と取組む課題の内容が常に新しく更新されて行く状態を継続的に作り出すことが可能となる。

また本研究の特徴は、異なる専門分野で共有できるテーマ「構成された光」を設定することによって、全学的な取組みとして展開する可能性にある。これらの成果によって、大学における教育を地域社会へ広く発信することを目指している。

#### Summary

This Research is a trial of the class development in the university specialized in a design and the art. It is to create a place announcing the student work produced in plural different practice classes and seminars generally.

Many of practice works are usually evaluated in the frame of one class and seminar.

In this Research, We thought of opening the frame.

The student work is evaluated widely by holding an exhibition and announcing the practice. And also we can receive outside evaluation for the contents of a class and the seminar at the same time.

It brought that not only the learning will improvement of the student, but also the contents of the practice are always updated by continuously.

By the sharing the theme of "Constructed Light" in a different specialized field, there is a possibility of this research will be a whole university activities.

We aim at sending education activities in our university to the regional community by these results.

1) 目的

本研究は、デザインとアートを専門とする大学における授業開発の試みである。それは、複数の異なる演習授業やゼミ、産学協同プロジェクトにおいて制作された学生作品（モノ）を発表するための新しい場（コト）をつくりだすことである。

また本研究の特徴は、異なる専門分野で共有できるテーマ「構成された光」を設定することによって、今後更に全学的な取組みとして展開する可能性にある。これらの成果によって、大学における教育を地域社会へ広く発信することを目指している。

2) 「構成された光展」について

「構成された光展」は、2008年を第1回\*2)、2009年に第2回\*3)、そして2010年第3回目\*4)を実施した。第2回「構成された光展」の特徴は、異なる2つの授業である「デザイン基礎特別演習B」と「コンピュータ演習」で制作された演習課題を展示した事である。また、展覧会運営に「博物館学芸員課程」が参加することで複数の授業が取組む新しい試みが始まった。

3) 第3回「構成された光展」

2010年12月21日に第3回「構成された光展」を開催した。第2回で実施したプログラムに加えて、複数の専門学科の授業とゼミ、産学協同プロジェクトの作品が展示された。（図1～図10）



図1) クラフト・美術学科「素材と加工法（担当教員：市野）」

学生作品



図2) ビジュアルデザイン学科 荒木ゼミ学生作品 two dozen luminous columns - 2ダースの光柱 -



図3) ファッションデザイン学科「ファッションデザイン空間（担当教員：瀬能）学生作品



図4) 環境・建築デザイン学科 藤山ゼミ学生作品 Pulling Light 引出す照明



図5) プロダクトデザイン学科「プロダクト基礎実習Ⅱ（担当教員：見明 田頭）」学生作品 LED Lamp Shade



図6) ワールド産学共同プロジェクト（担当教員：瀬能 見明 田頭 久富）学生作品 Paper Dress



図7) 床置展示 基礎分野科目「コンピュータ演習（担当教員：松本朋子 谷口正博 吉羽 相澤 永田 中山 大内 久富）」学生作品 100 Circles

天井吊り展示 基礎分野科目「デザイン基礎特別演習 B（担当教員：中山 久富）学生作品 BODY

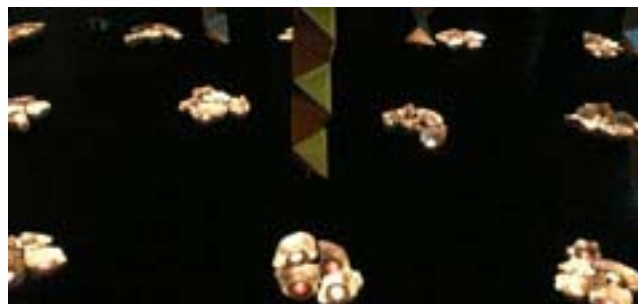


図8) 基礎分野科目「デザイン基礎特別演習 B（担当教員：中山 久富）」学生作品 SKIN



図9) 左側壁面展示 基礎分野科目「デザイン基礎特別演習 B（担当教員：中山 久富）」学生作品 BONE



図10) 博物館学芸員課程（担当教員：山崎）による会場運営

#### 4) 「構成された音と光」

第3回「構成された光展」のサブテーマを「構成された音と光」とした。第1回、第2回ともに世界的マリンバ奏者の名倉誠人による「Triple Jump (Hop Skip Jump)」の演奏を展示会場で流してきた。「Triple Jump」は高度な演奏技術を持つ名倉誠人のために現代作曲家ケンジ・バンチが作曲した。3つの楽章からなる構成は、基壇部（基礎）・中間部（柱壁）・頂部（屋根）といった建

築における三層構成を連想できることや、直接的にスポーツ競技の三段跳びをイメージすることもできる。また、三段跳びの Hop Step Jump に対して Hop Skip Jump としたユーモアからもアートやデザインにとって重要な「構成」に対する考え方がある。この曲を聴き、楽譜を読み込むことによって発想する演習課題「Modeling the score」を実施した。第3回「構成された光展」において、音楽から発想された造形作品と名倉誠人による演奏を同時開催することが実現した。（図11、図12）



図11) 名倉誠人マリンバコンサート



図12) 名倉誠人演奏曲「Triple Jump (Hop Skip Jump)」を聴き、楽譜を読み込むことから発想された学生作品 Modeling the score

##### 5) まとめ

一般の方々と本学学生を合わせて約200名を超える来場があった。「構成された光」を共通のテーマとして制作された多様な作品が鑑賞された。また、「構成」をアート、デザイン、音楽の共通言語として捉えることによってプログラムされた名倉誠人マリンバコンサートに来場者は耳

を傾けた。そこでは、「音」と「光」が共演する幻想的な時空間が作りだされた。個別に実施されている授業やゼミ、産学共同プロジェクトにおける学生作品が、「構成された光展」という場を共有することによって、新しい授業のあり方を提示することができた。

##### 註

###### 1) 共同研究者リストの続き

藤山哲朗、デザイン学部環境・建築デザイン学科准教授  
見明暢、デザイン学部プロダクトデザイン学科助教  
田頭章徳、デザイン学部プロダクトデザイン学科助教  
智博、デザイン教育研究センター助手

Cooperative research members,

Tetsuro FUJIYAMA, Department of Environmental Design, School of Design, Associate Professor

Nobu MIAKE, Department of Product Design, School of Design, Assistant Professor

Akinori TAGASHIRA, Department of Product Design, School of Design, Assistant Professor

Jibak YOON, Center for Design Studies, Assistant

###### 2) 第1回「構成された光展」

<http://www.youtube.com/watch?v=0Jp5-u9Z4ns>

(最終アクセス日 2011年9月22日)

###### 3) 第2回「構成された光展」

[http://www.youtube.com/watch?v=FOvNLEmYR\\_8&feature=related](http://www.youtube.com/watch?v=FOvNLEmYR_8&feature=related)

(最終アクセス日 2011年9月22日)

###### 4) 第3回「構成された光展」

[http://www.youtube.com/watch?v=u\\_huwctzofk&feature=related](http://www.youtube.com/watch?v=u_huwctzofk&feature=related)

(最終アクセス日 2011年9月22日)

##### 図版出典

1), 2), 8) 小林清美撮影

3), 4), 5), 6), 7), 9), 10), 11), 12) 筆者撮影